令和８年３月１０日

徳管協情報11

徳島県小中学校管理職員協議会
〒770-0003 徳島市北田宮 1-8-68 県教育会館内
TEL088-633-1101　FAX088-633-1124
E-mail　tkk1101@estate.ocn.ne.jp
URL　http://tkk1101.server-shared.com/

令和８年度徳管協活動における具体的な課題について

徳管協では全５回の理事会において活動等の在り方について協議を積み重ねてきたが、令和７年度の活動を振り返る中で、次年度徳管協の活動を進めていく上で次の事項が課題になると考えられる。

■教育管理職員の身分保障と処遇・待遇の改善及び教員不足・管理職受審者不足の解消について

- 教育管理職員の職責に見合う処遇・待遇の改善
- 教育管理職員の身分保障とウェルビーイングのためのカスタマー・ハラスメント防止対策の推進
- 教員不足解消のための産・育休補充教員及び欠員補充教職員等の人材確保
- 意欲や資質を有した者が教育管理職員になることを積極的に希望する学校環境づくり

■学校における働き方改革の更なる推進について

- 教育管理職員の業務負担と職務多忙化を軽減し、教育管理職員の心身の健康を維持するための支援
- 行政による学校経営上の学校問題解決のための支援事業の実施拡大
- 業務の精選・見直しの徹底と校務のデジタル化等の学校のＩＣＴ化の取組推進

■定年延長制と特例任用管理職（校長・副校長・教頭）について

- 役職定年となる教育管理職員の身分保障と処遇改善及び特例任用管理職の処遇・待遇の改善
- 退職後も教育管理職の経験を活かして安心して働ける多様な勤務制度等
- 特例任用管理職のより具体的な内容の情報提供と積極的かつ継続的な運用

令和８年度校長・教頭・特例任用管理職任用審査復元問題の情報提供協力お礼

徳管協は校長・教頭及び特例任用管理職の受審者支援のために、毎年管理職任用審査復元問題を作成し、徳管協ホームページの会員専用ページにアップしています。各支部に復元問題作成のための情報提供の取りまとめを依頼し、今年度もたくさんの情報提供を頂くことができました。

令和８年度会員専用ページは下図のようなホーム予定で、３月下旬頃ホームページにアップします。適宜ご活用ください。

■「会員専用」ページとパスワードについて

□「管理職任用審査復元問題」は徳管協ホームページの会員専用に掲載されています。会員専用ページに入るにはパスワードの入力が必要です。

□更に会員専用ページにある計２０コマの「管理職任用審査問題過去５年間」を閲覧するには、１コマ毎にパスワードの入力が必要です。定期大会や支部研修会等でお知らせしていますが、パスワードを知りたい会員・準会員の方は本部事務局まで連絡してください。

■令和８年度「会員専用」ページ予定

管　理　職　任　用　審　査　問　題　過　去　５　年　間

教頭（一次）	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
教頭（二次）	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
校長(一次・二次)	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
再任用管理職 特例任用管理職	令和４年度 再任用審査	令和５年度 再任用審査	令和６年度 特例任用実施なし	令和７年度 特例任用審査	令和８年度 特例任用審査

令和７年度末役職定年予定管理職の雇用と年金の接続に関するアンケート結果　徳管協調査

※調査期間　令和７年７月下旬～令和７年８月末日
※対　　象　令和７年度末役職定年予定管理職徳管協会員（校長５３名、教頭６名、計５９名）
※回　　収　５０名（回収率８５％）

問１　あなたは役職定年年齢６０歳後の令和８年度以降の働き方等についてどのように希望しますか。

①令和 10 年度末の令和 11 年３月 31 日の 63 歳定年退職まで働くことを希望したい。	①	24 名	48%
②令和７年度末の 60 歳の役職定年時退職（定年前退職）を希望したい。	②	24 名	48%
③その他	③	2 名	4%

問２　問１①の「６３歳定年退職まで働くことを希望したい」と答えた方で、希望したい働き方に○を付けてください。（複数回答可）

①「役職定年の特例」措置である「特定管理監督職群」である特例任用管理職の職	①	14 名	28%
②「主幹教諭」又は「指導教諭」、「教諭」へ転任（降任）した職	②	10 名	20%
③その他	③	3 名	6%

問３　問１②の「６０歳の役職定年時退職（定年前退職）を希望したい」と答えた方で、その理由としておおむね該当する項目があれば○を付けてください。（複数回答可）

①「定年前再任用短時間勤務制度」の職を希望したいため	①	3 名	6%
②「特定管理監督職群」の特例の適用外となったとき定年退職まで働く希望がないため	②	2 名	4%
③制度が管理職以外の「主幹教諭」や「指導教諭」への降任を基本としているため	③	4 名	8%
④給料が７割水準となるため	④	11 名	22%
⑤役職定年となるため	⑤	13 名	26%
⑥その他	⑥	9 名	18%

問４　あなたは６３歳定年退職後（もしくは６０歳以降の定年前退職後）の再任用・再雇用を希望しますか。

①希望したい。	①	24 名	48%
②希望しない。	②	24 名	48%
③その他	③	2 名	4%

問５　徳管協は、管理職の経験を活かせる再任用・再雇用職種を要望していますが、問４①「希望したい」と答えた方で、希望したいという職種に○を付けてください。（複数回答可）

①暫定再任用制度（短時間勤務）	①	8 名	16%
②暫定再任用制度（フルタイム勤務）	②	15 名	30%
③マイスターバンク登録制度	③	9 名	18%
④県の①②③以外の雇用制度（国、市町村教委関係等、民間・団体・私立大関係等）	④	13 名	26%
⑤その他	⑤	1 名	2%

■アンケート調査の結果傾向等について

- 本年度末役職定年者は定年退職年齢が６３歳となるが、定年退職まで働きたいが４８％、６０歳の定年前退職希望者が４８％で、大きく二つに分かれた。
- 「６３歳定年まで働きたい」の内、「特例任用管理職」の希望は回答者全体の２８％であった。
- 「６０歳の定年前退職を希望したい」の理由は、「役職定年となるため」の２６％で最も高く、続いて「給料が７割水準となるため」の２２％であった。
- 「退職後の再任用・再雇用」について、「希望したい」と「希望しない」がそれぞれ全体の約半数を占め、大きく２つに分かれた。